

# すべての人に心地よい避難所設営・運営アクティビティ

## 【事業実施主体】

長野県

## 【連携団体】

上田市、松本市、長野大学、特定非営利活動法人さくらネット

## 【目的】

災害が起きたとき行政職員や地域のリーダーはどう動き、何をすべきかを考えるため、実際の避難所設営・運営アクティビティを実施し、その内容や課題をまとめることにより、避難所運営における男女共同参画の視点の必要性の理解を促し、各地で同様の試みを普及する。

## 【主な取組】

女性団体、防災や被災者支援活動を行う団体・NPO、関係審議会等の委員、大学生、行政職員等を対象に、体験型ワークショップ「避難所設営・運営アクティビティ」の参加者を募集し、実際に避難所設営や運営を行うワークショップを実施する。

併せて、一般参加者による避難所体験を実施し、これらの状況や課題を紹介するパンフレット・DVDを製作して、県内市町村に配布する。

- 26年9月 「避難所設営・運営アクティビティ」実施検討ワーキンググループ開催
- 10月 避難所設営・運営アクティビティ、避難所体験の参加者募集
- 11月7日 避難所設営・運営アクティビティのための事前ワークショップ開催
- 11月24日 避難所設営・運営アクティビティ及び避難所体験実施  
振り返りのワークショップ開催
- 12月 パンフレット・DVD制作
- 27年1月～ 市町村へパンフレット・DVD配布

# 事業実施概要

## 1 避難所設営・運営アクティビティ

行政職員や地域のリーダーなど実際に避難所運営に関わる可能性の高い者、また希望する大学生など避難所運営に関心のある者が、実際の避難所運営を実施し、運営の方法や課題を学習する。

- ①避難所運営の企画・立案ワークショップ(26名参加)
- ②避難所設営・運営アクティビティ(21名参加)
- ③振返りのワークショップ(21名参加)



## 2 避難所体験事業

避難所の体験を通して実際に被災した時にどのような状況になるか実感してもらい、日頃の備えを促すとともに、防災に対する取組の必要性の認識を深める。

○一般の住民、大学生等118名が参加し、長野大学体育館において実施



## 3 啓発・普及事業

市町村職員等が避難所運営等における男女共同参画の視点の必要性について地域住民の理解を促し、各地で同様の試みを行ってもらうための動機付けとなるよう、事業の振り返りや聞き取った参加者の声をもとに、パンフレット及びDVDを作成。(パンフレット1,500部、DVD100枚)



# 事業効果

- ・県内全域から問題意識を持つ参加者を募集し、事前ワークショップや避難所設営・運営アクティビティなどを実施したことにより、今後、参加者がこの事業で学んだ合意形成の手法等を生かしながら、男女共同参画の視点からの防災を進めるための地域の推進役となることが期待される。
- ・県・市町村がそれぞれ防災担当部局と男女共同参画部局が協力して今回の事業を実施したことにより、地域防災における男女共同参画を推進する上での両部局の連携強化が図られ、今後の防災における男女共同参画センターの役割の確認に繋がることが期待される。
- ・今回作成したパンフレットやDVDを全ての市町村に配布し、男女共同参画センター主催の研修等の機会に今回の事業を紹介することにより、市町村または地域単位で男女共同参画の視点を活かした避難所運営の取組がさらに広がることが期待される。
- ・参加した学生の防災意識が高まり、学生と地域の協力体制作りのきっかけになることが期待される。

# 今後の課題

- ・参加者の防災意識を継続し、地域への普及を図るため、参加者のネットワークづくり及び事業の振返り等の機会を設ける必要がある。
- ・市町村において同様な取組が行われるように、事業を広く紹介していく必要がある。